

比較動物医学

【Comparative Medicine】

担当責任者 教育教授（動物研究センター） 宮田 博規

ねらい

ヒトと動物の接点において問題となる動物福祉とそこに潜む共通の感染症について概説します。
 グローバル化が進むにつれ感染症が蔓延するスピードは増し、範囲も広がっています。ここ数十年の間に30種類以上の新しい感染症が発生したと言われています。我々人類は、感染すると致死率が90%に及ぶエボラ出血熱ウイルス、次々に出現する新興再興感染症、新型インフルエンザ、新型コロナウイルスに打ち勝つことができるのでしょうか。これら恐怖の発端となっている人獣共通感染症に焦点を当て、その基礎的な病原体の性質に始まり、人に及ぼす影響について解説します。

学修目標

1. 動物実験の倫理について理解し、説明できる。(V-3)
2. ウイルスの複製機構を理解し、説明できる。(II-5)
3. 人獣共通感染症を理解し、その制御法について説明できる。(II-5)
4. バイオテロ対策について説明できる。(II-11)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容を復習すること。

成績評価方法・基準

筆記試験(52%)+小テスト(30%)+出席状況等(18%)として評価
 100点満点で60点以上が合格

○教科書

特に指定しない

○参考書

吉開泰信編集「ウイルス・細菌と感染症がわかる」2005年(羊土社)
 嘉糠洋陸、忽那賢志「感染症 いま何がおきているのか」2015年(羊土社)
 山内一也、三瀬勝利著「忍び寄るバイオテロ」2003年(NHK books)
 Fields Virology sixth ed., 2013, LWW.

講義:2301講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.10.6	水	1・2	動物の繁殖学—家畜と野生動物における繁殖学の重要性 小テスト	A	1	1	奥山 みなみ(学外)
10.13	〃	〃	動物実験の倫理と社会環境 小テスト	〃	〃	〃	宮田 博規
10.20	〃	〃	感染症と免疫機構 小テスト (※)	E	〃	1,2	〃
10.27	〃	〃	ウイルス感染概論 小テスト (※)	C	3	1	〃
11.10	〃	〃	ヒトと動物の共通の感染症 小テスト (※)	〃	〃	〃	〃
11.24	〃	〃	バイオテロ対策 小テスト (※)	〃	〃	〃	〃